

平成25年度 阿賀野市研活動報告

会 長 相馬 重輔
副会長 佐藤 雅
評議員 相馬 重輔

1 研究活動の方針

阿賀野市小・中学校の研修組織として活動し、事務局は小学校に置く。次の事業を推進して、小・中学校教育の振興・充実並びに発展を図る。

- (1) 市学校教育の重点を受け、「学力向上検討委員会」「生徒指導委員会」を設置して、先導的な試行と提案を行う。
- (2) 会員の指導力向上に向け、各教科・領域15部会の研修を推進する。

2 研究活動の実際

(1) 学力向上検討委員会・生徒指導委員会

- ・ 各中学校区単位の学力向上検討委員会が中核となって、小・中学校の学力実態を分析し、視点を共有した学力向上の取組を推進する。
- ・ 生徒指導委員会では、心の教育や生徒指導の充実及び特別支援教育の指導の在り方等について研修を深め、各校・全会員への提案を行う。

(2) 教科・領域における指導力の向上

- ・ 各教科・領域における会員の指導力の向上を目指す活動を行った。
- ・ 「夏期教育講演会」(8月2日)において、新潟大学教育学部佐藤佐敏准教授から「言語活動の充実と学力の向上」と題してご講演いただいた。思考力や表現力等の能力の育成は言語活動の充実なしには達成できない。各校における授業改善の指針を深めることができた。今年度は会場を阿賀野市水原保健センターで行った。

(3) 4中学校区単位の連携

- ・ 各校の校内研修における授業参観交流会を通して、学力向上に向けた教職員の具体的な連携を図った。
- ・ 「いじめ根絶子どもサミット」の開催など、4中学校区間で企画運営した「中1ギャップ防止研修」に取り組んだ。

(4) 教育研究発表会

- ・ 今年度は2校が市指定校となった。なお、神山小学校は県小の学習指導改善事業の研究実践報告会を兼ねた。2校ともに言語活動による思考力・判断力・表現力の育成を重視した研究であった。

※ 神山小学校「自分の考えをもち、かかわりの中で考えを深める子ども」
～考えを深めさせるための「かかわらせ方」の指導の工夫～
(国語) 10月23日

水原小学校「言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方」
(国語) 11月15日

3 市教研が関係した主な事業

- (1) 小・中学校科学研究発表会：10月3日(市ふれあい会館)
- (2) 親善陸上大会：9月19日(水原小)各校6年生が陸上競技・交流会
- (3) 小学校音楽祭：11月8日(市総合体育館)各校児童音楽発表会